

地 域 連 携 だ よ り

彦根市立病院

〒522-8539 滋賀県彦根市八坂町1882番地

TEL : 0749-22-6050(代)

問い合わせ先 彦根市立病院 地域医療連携室

TEL : 0749-22-6053 FAX : 0749-22-6093

ご紹介お待ちしております

地域に根差した 呼吸器外科を目指して

呼吸器外科部長

花岡 淳

はなおか じゅん



このたびご縁をいただき、呼吸器外科医として着任いたしました花岡と申します。歴史ある彦根の地で医療に従事できますことを大変光栄に存じるとともに、平素より地域医療にご尽力されている先生方に心より敬意を表します。

呼吸器外科（一般胸部外科）は、肺・気道・縦隔・胸膜・胸壁などの疾患に対し外科的治療および診断を担う診療科です。原発性肺癌や転移性肺腫瘍、胸腺腫などの縦隔腫瘍に対する手術を中心に、区域切除や肺葉切除、胸腔鏡下手術などの低侵襲手術を積極的に行っております。また、自然気胸や嚢胞性肺疾患、膿胸・肺感染症に対する外科治療に加え、手掌多汗症に対する胸腔鏡下交感神経遮断術や漏斗胸の矯正手術など、良性・機能性疾患にも幅広く対応しております。さらに、画像診断や気管

支鏡検査で確定診断に至らない症例に対しては、胸腔鏡下生検などの外科的診断にも対応しております。今後は本院の呼吸器内科とも協力しながら診療にあたり、より適切な診断・治療の提供に努めてまいります。

微力ではございますが、これまでの臨床経験を生かし、地域の皆様が遠方へ赴くことなく安心して医療を受けられる体制づくりに努めてまいります。とりわけがん患者さんにとって、遠方での治療は身体的・精神的負担が大きく、地域で完結する医療の重要性を強く認識しております。

また、長年地域医療に尽力されてきた林栄一先生とともに診療にあたり、開業医の先生方、診療所・病院の皆様との連携を一層深めてまいりたいと存じます。何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

肺・縦隔・胸壁を含む胸部疾患全般に対し、外科的診断・治療に幅広く対応し地域で安心して完結できる診療体制の提供に努めます。

1. 肺癌治療の現状と外科治療の役割

肺癌は依然として重要な疾患です

本邦における死因は、昭和50年代以降、悪性新生物（がん）が第1位となり、現在も増加傾向が続いています。部位別では、肺癌は男性で第1位、女性でも第2位を占めています（図1）。根治を目指した治療に加え、進行例に対する長期的な病勢コントロールや緩和医療を含めた包括的な対応が求められています。

根治を目指すには外科治療が重要です

近年、薬物療法の進歩に伴い、進行癌においても、症例によっては生存期間中央値が3年を超える成績が報告されています。

しかし現在も肺癌に対して根治を期待できる治療の中心は外科治療です。手術適応となる早期の段階で発見し、適切な治療につなげることが極めて重要です。

早期肺癌に対する低侵襲・機能温存手術

近年の肺癌外科治療では、早期癌に対しては可能な限り肺機能の温存と低侵襲性を重視した手術が主流となっています。低侵襲手術としては、胸壁へのダメージを軽減する胸腔鏡下手術（video-assisted thoracic surgery : VATS ; 図2）が広く普及しており、日本胸部外科学会の全国統計（2021年）においても、肺癌手術の約75%が鏡視下で施行されています。さらに機能温存の観点から、従来標準とされてきた肺葉切除に加え、腫瘍径2cm以下の末梢小型肺癌に対しては区域切除といった縮小手術も推奨されるようになってきました（図3）。これにより、根治性を保ちながらADLの維持を図ることが可能となっています。

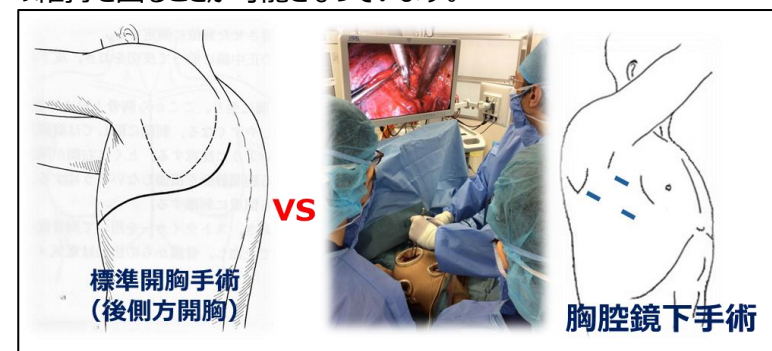
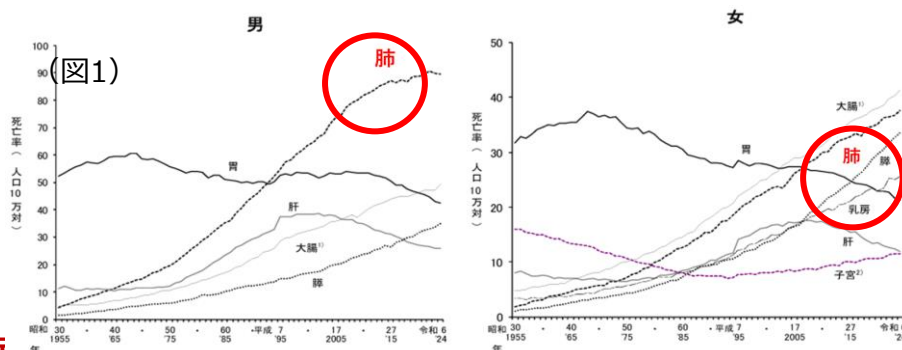


図2

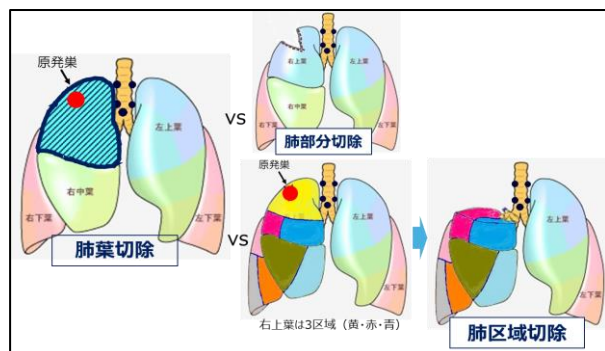


図3

局所進行肺癌に対する集学的治療の進歩

局所進行肺癌に対する外科治療では、従来の開胸手術を基本としつつも、可能な限り肺機能の温存を目指した手術が行われています。気管支形成や血管形成といった手技を併用することで、従来であれば片肺全摘術が必要と考えられた症例においても、肺葉切除などの機能温存手術が可能となる場合があります（図4）。

また局所進行肺癌では薬物療法を組み合わせた集学的治療が重要です。従来の殺細胞性抗癌剤に加え、分子標的治療薬や免疫チェックポイント阻害薬の導入により、治療成績のさらなる向上が期待されています（図5）。

特に術前に薬物療法を行う導入療法では、腫瘍の縮小や病理学的治療効果が得られることにより、手術の安全性や根治性の向上が期待されます。さらに、

これにより肺葉切除の適応拡大や

気管支・血管形成術を併用した機能温存手術の選択につながる可能性があります

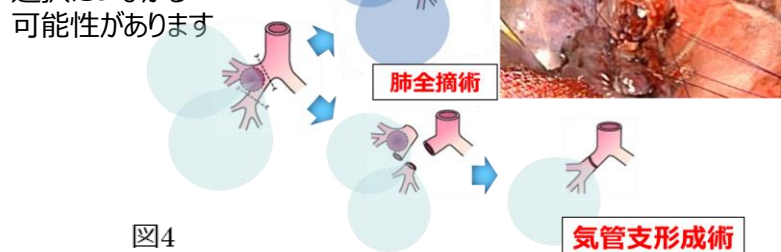


図4

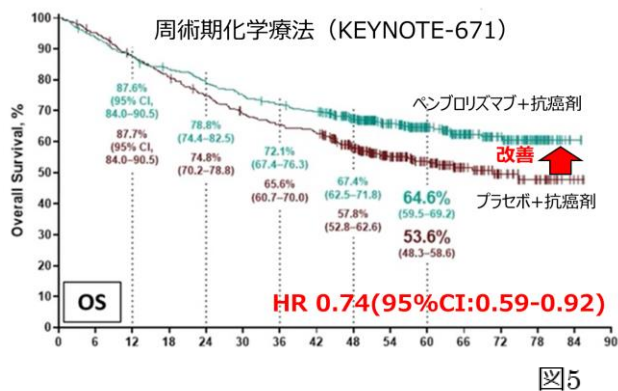


図5

転移性肺腫瘍について

原則として肺機能温存を重視し、部分切除を基本としつつ、腫瘍が肺深部（中枢側）に位置する場合には区域切除なども組み合わせ、切除範囲の最適化を図っております。

肺癌の根治を目指すうえで、早期発見・早期治療が重要です。
胸部画像で異常陰影を認めた場合や、肺癌の可能性についてご懸念がある際には、どうぞお気軽にご相談ください。

2. 縦郭腫瘍

縦隔腫瘍および重症筋無力症に対する外科治療

縦隔腫瘍には胸腺腫をはじめとするさまざまな疾患が含まれます（図6）。従来は胸骨正中切開による開胸手術が標準とされてきましたが、創部が大きく、術後疼痛や社会復帰までに時間を要することが課題でした。近年では胸腔鏡下手術の発展により、当科では胸骨を切開しない低侵襲手術を基本としており、術後の早期回復および社会復帰を目指しています（図7）。腫瘍径が比較的大きい症例（ $\geq 5\text{cm}$ ）においても、適切に症例を選択することで胸腔鏡下切除を行っており、長期的にも良好な経過を得ております。また、胸腺腫の約30-40%に合併する重症筋無力症に対しては、腫瘍切除に加え胸腺全摘および周囲脂肪組織を含めた拡大胸腺摘出術が必要となります。従来は胸骨正中切開が選択されることが一般的でしたが、当科ではこれらの症例に対しても、胸腔鏡を用いた低侵襲手術を基本とします。縦隔腫瘍が疑われる症例や治療方針に関するご相談がございましたら、ぜひご紹介いただけますと幸いです。

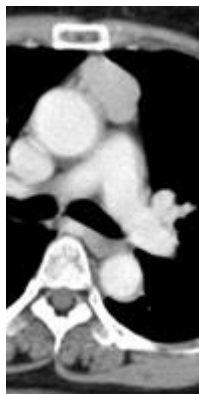


図6

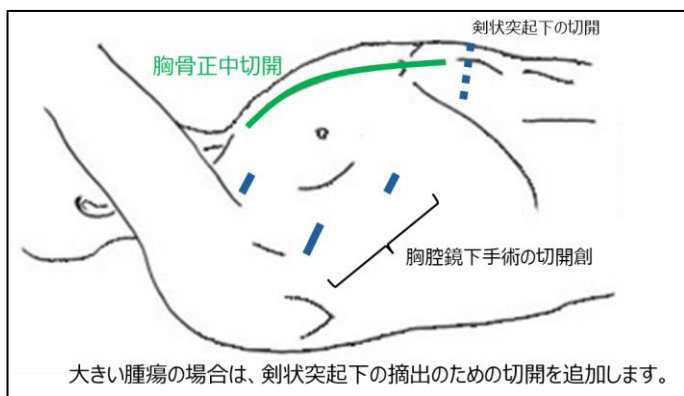


図7

3. 嚢胞性肺疾患（気胸）

自然気胸に対する外科治療と再発予防

自然気胸に対しては、胸腔鏡下手術（VATS）を基本とし、嚢胞切除に加えて人工材料を用いた胸膜補強などを併用することで、再発率の低減に配慮した治療を行います。また、気胸は急性発症する場合もあるため、可能な範囲で速やかな対応に努めます。症例に応じて柔軟に対応いたしますので、ご紹介をご検討いただけますと幸いです。

4. 手掌多汗症

手掌多汗症に対する外科治療

手掌多汗症は日常生活や社会生活に支障をきたすことがあります。治療は皮膚科での外用療法（抗コリン外用薬や塩化アルミニウム製剤など）が第一選択ですが、十分な効果が得られない症例や、より確実な改善を希望される場合もあります。

当科では、こうした症例に対して胸腔鏡下交感神経遮断術を行います（図8）。本術式は小切開で施行可能な低侵襲手術で、適切な症例選択により高い治療効果が期待され、症状の改善によるQOL向上が見込まれます。外用療法でコントロール不良の症例や外科治療をご希望の際には、ご相談いただけますと幸いです。

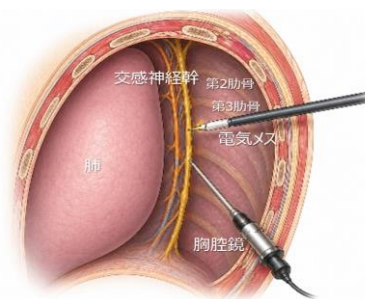


図8

5. 漏斗胸

漏斗胸に対する外科治療

漏斗胸は前胸部が陥凹する胸壁変形であり、整容面だけでなく、症例によっては呼吸機能や運動耐容能に影響を及ぼすことがあります。

当科では、低侵襲な矯正手術であるNuss法を行います。本術式は胸骨裏面にバーを挿入して胸壁を挙上する方法で、小切開で施行可能です（図9）。学童期から成人まで幅広い症例で適応を検討します。漏斗胸が疑われる症例や胸部変形に関するご相談がございましたら、ご紹介いただけますと幸いです。

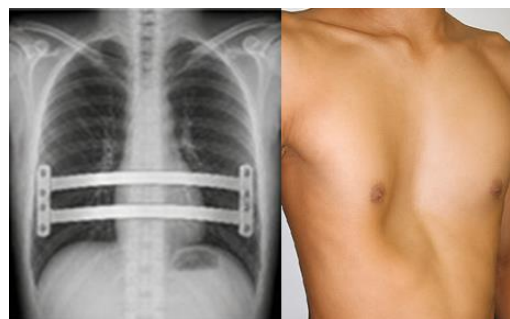


図9

New Face! 新任医師紹介

このたび新しく彦根市立病院で働くことになりました。皆さまよろしく願いいたします。

①大学卒業年②専門分野③所属学会④出身地⑤自己PR⑥地域の先生方へ一言



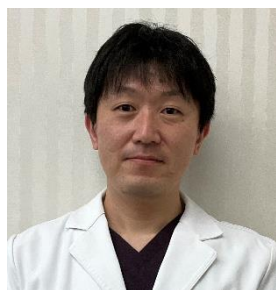
脳神経外科
ご こういち
呉 浩一

- ① 2015年(北京大学)
- ② 脳神経外科
- ③ 脳神経外科学会、脳腫瘍学会、脳神経血管内治療学会
脳卒中学会
- ④ 中国吉林省
- ⑤ 丁寧な診察をこころがけてます。
- ⑥ 脳神経系疾患の紹介お待ちしております。



呼吸器内科
にしおか みちよし
西岡 慶善

- ① 1998年(京都大学)
- ② 呼吸器疾患全般
- ③ 日本内科学会、日本呼吸器学会、日本肺癌学会
日本結核・非結核性抗酸菌症学会、日本呼吸器内視鏡学会
- ④ 大阪府
- ⑤ 肺癌、肺炎、間質性肺炎、COPD・気管支喘息、結核・非結核性抗酸菌症などの呼吸器疾患全般の診療に携わってまいりました。
- ⑥ 患者さんが安心して地域で生活できるよう、かかりつけ医の先生方と緊密に連携して、患者さんに適切な医療を提供し、地域医療に貢献していきたいと考えております。



眼科
こだま しゅんすけ
小玉 俊介

- ① 2018年(帝京大学)
- ② 眼科一般
- ③ 日本眼科学会
- ④ 京都府城陽市
- ⑤ 人生遠回りしてしまいましたが、頼れる知り合いが多いことが取り柄です。
- ⑥ 湖東エリアの眼科医療に少しでも貢献できるよう、精進してまいりたいと思います。



整形外科
やの ともき
矢野 智規

- ① 2017年(岐阜大学)
- ② 整形外科 脊椎脊髄外科
- ③ 日本整形外科学会 日本脊椎脊髄病学会
日本脊椎・脊髄神経手術手技学会 日本脊椎前方側方侵入手術学会 中部日本整形外科災害外科学会
- ④ 静岡県浜松市
- ⑤ 4年ぶりに彦根市立病院に戻ってまいりました。整形外科でも特に脊椎分野について修練を積んで帰ってきました。彦根の地でも脊椎治療を頑張っていきたいと思います。
- ⑥ 迅速かつ丁寧に、誠心誠意治療にあたらせていただきます。



呼吸器外科
あかざわ あきら
赤澤 彰

- ① 2013年(滋賀医科大学)
- ② 呼吸器外科
- ③ 日本外科学会、日本胸部外科学会、日本呼吸器外科学会
日本肺癌学会、日本呼吸器学会
- ④ 京都府
- ⑤ 呼吸器気外科全般を担当し、患者さんに寄り添った丁寧診察をこころがけております。地域の皆様に安心して医療を受けていただけるよう努めてまいります。
- ⑥ 地域の先生が方と連携を大切にし、先生方が呼吸器疾患でお困りの際は是非とも助けられるよう微力を尽くします。